

## デジタル技術が変える 歯科治療の現場

幼少期に歯の矯正をした経験から矯正歯科医に憧れ、歯科医となってからはまだ日本に根付く前のインプラント治療を貪欲に学び、数々の実績を積み上げてきた池田寛理事長。現在は4つの歯科クリニックを経営し多忙な日々を送る傍ら、インプラント医の登竜門ともされるニューヨーク大学歯学部卒業後研修コースで講義を持つなど、世界の歯科医師の指導にもあたる。自ら学び続ける一方で、日本の若いドクターたちに実地で経験を積ませるため、日本と海外を常に行き来しているのが池田理事長の日常だ。

若い頃から国内外を問わず、技術や知識を習得できる場を求めてきた。今も変わらない池田理事長のそうした姿勢の背景にあるのは、「患者様が望む治療法を提供したい」という強い思いだ。

「患者様が望まれたときに、その治療法を知らなかったりできなかったりすると、患者様からの信頼は得られません。だからこそあらゆる治療法を習得し、いつでも患者様に選択肢として提示できるように、自分の中に引き出しとして持っておくことが必要なのです」。

そうした池田理事長の考えはグループのドクターたちにも根付いており、早ければ1年目から、遅くとも3年目には全員がインプラントなどの技術を習得。難易度の高い治療には池田理事長がマンツーマンでつくなど、実践的

# 一人ひとりに幅広い選択肢を提示 希望に寄り添った治療の選択肢を

東京都江東区を拠点に4つの歯科クリニックを展開する医療法人社団池田会。グループを率いる池田寛理事長は、歯科医師として30年以上のキャリアを誇り、国内外のインプラント医育成などにも深く携わってきた。そんな池田理事長が国際的な動向を踏まえた歯科治療や、歯科医療の未来について聞いた。

な技術の伝承が行われている。

一方で池田理事長が注力するのが、デジタル機器など最新鋭設備の導入だ。「例えばインプラントをどの位置でどの深さまで埋め込むのか、今はCTスキャナーやナビゲーションガイドで確認が可能です。使い方によっては少しのズレなどが出るので過信は禁物ですが、従来はスーパードクターの感覚に頼っていた部分をテクノロジーで可視化し、治療の精度を安定させやすくなった。また、複雑な歯の神経の状態を可視化して患者様に説明できたり、より低侵襲かつ短時間で治療を目指すようになった。機器の進化に伴い現在の歯科治療も確実に進化しています」。

## 自分の歯で噛める人生を できるだけ長く送るために

そもそも数十年という単位で見ると、日本の人々の歯の向き合い方自体も大きく変化している。「私が歯科医になった30年前は、12歳の日本人一人当たり約10本の虫歯があったと言われていました。それが現在は1本あ

るどうか。人々の歯への向き合い方も歯科医の役割も、その間で大きく変化しているのです」。

かつては「削って詰める」という治療が歯科医の大きな役割だった。しかし世界が長寿命化している現在は、歯周病や歯の欠損からいかに歯を守り、残すかといったマネジメントが歯科医の大きな役割となっている。

「何よりも健康な口元を守るための予防こそが、最も効率の良い投資になります。予防歯科が最優先事項ですが、一方で歯周病になった場合にはきちんとした治療が大切」。池田理事長自身が国際歯科衛生士学会（IDHA）の副会長を務めることもあり、歯科衛生士の教育にも注力。クリニックで働く歯科衛生士の多くが、専門的な知識や技術を磨き、歯周病治療で重要な役割を担っているのも同グループの特徴だ。

「痛くて長い時間かかる治療や手術は、誰だって受けたくありません。予防歯科はもちろんのこと、できる限り負担を抑えた歯科治療をできる限り短時間かつ低侵襲で行うために、今後も時代の進化とともに研鑽し続けなく



理事長  
池田寛

奥羽大学歯学部卒。日本大学松戸歯学部兼任講師、国際インプラント学会（ICOI）日本支部理事、NY大学歯学部卒業後研修コースのバイスディレクター等を歴任。2001年に池田歯科医院を開院。現在は医療法人社団池田会理事長として、江東区内に4院を展開する。



## 医療法人社団池田会

イースト21デンタルオフィス  
東京都江東区東陽6丁目3-2  
イースト21タワー 206  
03-5632-3636  
<https://www.east21-dc.com/>

- 診療時間：  
月曜-金曜/  
9:30-18:00 / 14:00-18:30  
土曜 / 9:30-16:30
- 休診日：日曜・祝日
- 診療科目：矯正歯科



CT画像を用いて治療内容を丁寧に説明。最新機器と対話を重ね、患者に最適な選択肢を導き出す